

Title: 「シノゴのオンナ」



小林 真純
人前に出るのは大の
苦手です。もちろん
写真に撮られるのも。
顔ひきつっていませんか？

● 最近のエントリー

- ☞ [名物は蛇と茸らしい](#)
(2010.07.29)
- ☞ [注意：時帯のある人だけ読んで下さい（長いので）](#)
(2010.07.29)
- ☞ [徒然なるままに](#)
(2010.07.18)
- ☞ [浅井が墜落しまっているー](#)
(2010.07.11)

● アーカイブ

- ☞ [2011年02月](#)
- ☞ [2010年11月](#)
- ☞ [2010年10月](#)
- ☞ [2010年09月](#)
- ☞ [2010年08月](#)
- ☞ [2010年07月](#)
- ☞ [2010年06月](#)
- ☞ [2010年05月](#)
- ☞ [2010年04月](#)
- ☞ [2010年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future



RSS 2.0

「シノゴのオンナ」 > 2010年07月 アーカイブ

10.07.29

■ 名物は蛇と茸らしい

[Tweet](#)

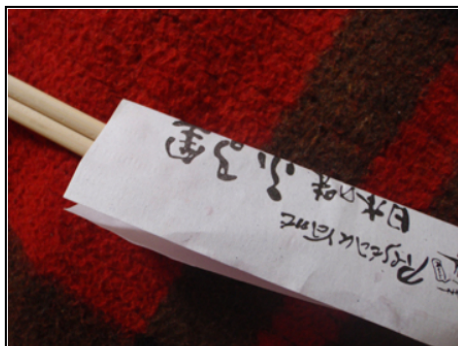
いいね! 0

[チェック](#)

どうも前回は慣れないことを書いてしまったような...
あ、ちなみに飛行機は結局5時間遅れで飛びました。；この時期はダメですねー
次の移動もこうだったらどうしよう...

◇7月9・10・11・12・13日

写真展終了後のネパールは、休養と休養と日本食と買い物。





ほぼ日本食屋に通ってたかなー。全員揃って行ったところにはもう感動も薄れてました(笑。
遠藤は風邪。浅井も体調優れず。自分はその辺なんともなかったのですが、なんと日焼けで耳
に水ぶくれが！！
ネパールの日差しは怖いよー

11日には浅井と二人で「Early Childhood Development Center」というところに行ってきました。
親が刑務所に入っている子供たちのための施設なのですが、どうやら展示場所を探している時
にBishwaさんが声をかけてくれたところの一つらしいです。
施設側の人と連絡を取れたのが遅かったために展示が出来ず、せめて子供たちに写真だけで
も、と急遽プリントアウトをして持って行きました。急だったために子供たちとは直接会えま
せんでしたが、スライドショーのデータも渡してきたので後で楽しんでもらえたら嬉しいで
す。

施設の詳しい情報についてはこちらを是非！
<http://www.ecdc.org.np/index/index.html>

12日はChapaliへ展示期間中に撮ったみんなの写真を配りに。



埋もれていく浅井...

写真を持ってきた、と言ったらあっちゅー間に... こちらも急ぎだったために枚数は少なめだ
ったのですが、皆さんとても喜んで下さいました。体調を崩していた謙介が来れなかったのが

残念。
何人かは「もっとおれの（私の）写真があるはずだ！」と不満そうでしたが（女ボスとか）、住所等もしっかり聞いたのであとで手紙と一緒に送るつもりです。

13日の移動はラサ経由で中国成都へ。ラサの空港から垣間見た空の青さに一同テンション上がりつつ、成都では地面の平らさに（コンクリートですから！）感動したりして（笑）。

そして中国で始めにお会いするのは久々のトラベルマスター佐藤さん！！いつものビビットなボロシャツが素敵です！



日本を発つ前日にぎっくり腰になったということで、常に腰をかましつつ、それでも手際の良さは変わらない！
後体調の悪い生徒と病院に行ったおり、ぎっくり腰ではなくなんと椎間板ヘルニアだということが判明したのですが、今では大分調子もいようです。

話変わりまして 途中まで下書きしたものを、只今深圳の空港にて続きを書いています。今日は昆明から深圳経由で武夷山へ。
始めの飛行機が多少遅れたにもかかわらずなんと約6時間待ち！！

ひま-----

二本目の飛行機の到着予定時刻は21:00過ぎなので今度こそ遅れないことを祈ります。

と、さらに日が経ってこれを上げたのが7/31。2本目の飛行機も遅れてホテルにチェックインできたのは23:30ごろ。本当に丸1日を移動のみに費やしてしまいました....。つ、疲れた...；



武夷山の空港

ここ武夷山では蝉の声をよく聞きます。湿気もすごくて、あれ、なんか日本の夏に似ているような...？

寝付けぬ夜が続きそうです。

post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.29 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「シノゴのオンナ」](#) > 2010年07月 アーカイブ

注意: 時間のある人だけ読んで下さい (長いので)

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

空港で下書きを書いています。
またまた飛行機の遅れで、もうフライト予定時刻から1時間半経つところ。今日中に撮影場所のある街まで行きたいのに、手前の都市で一泊することになるんだらうか...

◇7月6日

Osho tapobanでの展示が終わり、この日からはカトマンズ郊外にあるNarayan ThanのRudrakshe chowkはChapaliという場所に移動します。
早朝から小雨の降る中、本当に何も無い空き地にて作業開始。スペースを計り、農民ザナック41歳にシャベルを借りて穴を掘り、遠藤・斎藤先生が調達してきた木材を支柱として植え込んで、写真を吊るすための紐を張っていきます。
こうやって文字で書くとなんでもなく思えますが、これが中々の大作業。
が、Oshoでの展示は確実に自分たちをレベルアップさせてくれたようです。



そのうちに近所の人が集まってきて、さてこいつらは一体何を始めるんだと見物を決め込む人多数。
以前に手伝ってくれると言っていたおじさまたちは生憎おらず 最初は4人で作業していたのですが、見かねた農民たちがちょこちょこ助けしてくれました。
写真を吊るし始めると、さすが青空展示。展示が完成しないうちからたくさんの人が見に来ます。



ところで、この日一番のサプライズはなんとエリカさんとBishwaさんのお母さんと妹さんが手作りのお昼を持って来てくださったこと！ これがまた美味しいのなんの！





左から妹さん、お母さん、エリカさん

個人的にはご飯がおいしかったです。バター醤油炒めみたいな感じで。
お母さん、妹さん、エリカさん、本当 ごちそうさまでした。



やっぱり家庭の味はいい...

午後には雨が降り出してしまいましたが、約半日一緒に過ごただけでも近隣のネパール住民
はとでもフレンドリー。雨宿りしながらチャーをもちそうになったりチェスの勝負が始まったり...



斎藤先生はこのお兄さん（シャイボーイ兄）にボロボロにされたそうです（笑

そして夕方、雨が止んだおりにPramilaさん登場。
この方、Bishwaさんのご友人で元同僚だということなのですが、展示広場のすぐ近くにご自宅
を持っていて（さりげに豪邸！）、夜間に写真を保管しておいてくださることになっていたの
です。
疲れとたくさんの方が集まってくれた嬉しさでテンション馬鹿上がり自分たちは、その勢い
のまま 仕事終わりに駆けつけてくれたBishwaさんやタクシーの運転ちゃんも入れて集合写真。





左からタクシー運転手のRamさん、Pramilaさん、Bishwa、エリカさん。ちなみにすぐ後ろにあるのがPramilaさんのお宅です。
それにしても斉藤先生ノリノリだな... (笑)

この日は確実に疲れていたであろうに、宿に帰っても興奮覚めやらず。共同シャワーが断水するという事態も、馬鹿上がりテンションの前にはなんのその！パンツ一枚で夜中のホテルを徘徊します (笑)



◇7月7日

Chapaliでの展示2日目。この日は朝から大変でした...。実は前日に写真を吊るしていた支柱等もすべて取り払ってしまったため、また1からのスタート。しかも今回は厳密に3人のみでの作業。

どうして支柱まで撤収したかという、初日の撤収時に現地民に注意されたからなんですね。持ってかれるよー、と。グラサンおじさん (実はおなかぼっこり) の言葉を借りれば、「ネバールじん、ちょっとダメね」ということらしい。

前日のテンションが去り、疲れだけが残った3人による作業です。中々はかどりません。結局この日は準備40時間、準備完了後の展示2時間となってしまいました。見に来てくれる人も前日より大分少なかった...



7日のお客さん

この真ん中のボーダーシャツの青年、後日実はPramilaさんの家の方だということが判明！！日本のアニメが好きらしく、なにやら浅井はこのとき某忍者アニメのネタバレをされたんだとか... (笑)

他の班と同様、当初は3日間くらいの準備期間を経て展示をする予定だった自分たち。しかし諸々の事情で初日から展示準備に入り、終わるなり次の会場の準備。もちろんろくな宣伝もしていません。人が来るはずがない。
浅井・遠藤が大きな通り沿いにDMを配りに行ったりもしましたが、そうこうするうちに撤収時間に。この日は定時連絡の日でもあったのでちょっと早めだったのです。

◇7月8日

Chapallでの展示最終日。7日に疲れぎった自分たちは、もう明日が最後だし盗まれてもいいんじゃないね？と軽く開き直って支柱等を放置。朝広場へ行くと、お～残ってる残ってる。誰にも盗られなかったようです。それとも近所の人が覗みを利かせてくれたのか。写真を吊るすだけなら作業は早いです。疲れていてもね。浅井はあまり体調が優れなかったのに、作業後に近所の女の子（命名：女ボス）に引き回されてサッカーをしたりもしていました；

そして遠藤が残ったDMの束を持って宣伝へ。帰りが遅いのでどうしたのかなーと思ったら、すべて配りぎって帰ってきた！やる時はやる男だったのか！？初日に会った現地人の協力があったらしいのですが、それにしてもすごい！



やる時はやる男、遠藤謙介。
(またの名をズリ夫)

展示後の写真は、欲しい人がいればあげようかぐらいい話していたのですが、これがもう大人気で大人気で...
取拾がつかない！

初日から予約をつけようとする子供もいましたが、それが広まったのか、いろんな人があはれはこれほど聞いてきます。結局最後には裏に名前を書いてもらうことに。それも書いてあった名前を消して自分のサインを書き込んだりするのですからもう大変。割り込まれて泣き出してしまう子供もいてあわや喧嘩勃発の危機かと...；

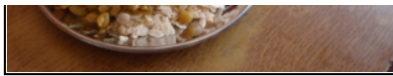
この日は写真をもらおうという人が今か今かと集まってきましたが、それ以外の方も大分いらっしやいました。謙介DM効果と、どうやら噂が広まったようです。普段はトレッキングのガイドをしているという方や友達に聞いて見に来た、という方。もちろん通りすがりで立ち止まって見ていってくれる方も。2日目の入が良くなかったので嬉しさ倍増！です。



写真の裏に名前を書く子供たち

ちなみにこの日のお昼は近所のおばさん（もろこしおばさん）にごちそうになりました。





そして夕方。
運命の時間です。

初日と同じように集合写真を撮って散収を始めますが、三人の口から出る言葉は...

「Wait!! Stop!! だからちょっと待ってー!!」

「No No No!! 一人1枚だっば!!」

「じゅーんーばーんー!! だっつの!!」

...まあ、どんな風だったかはご想像にお任せしますが、一言だけいわせてもらうなら「半端なかった」でしょうか。写真を撮る余裕がないくらいには。



リトルギャングたち。左端のおじさんが誰かは誰も知らない（笑）。

写真展はとにかく“大変”でした。うまくいったこともあるけどうまくいかなかったことだってたくさんあるし、全然全く何一つ予想通りにはならなかった。メンバー含めいるんな人に迷惑をかけて、助けってもらって、何とか必死に形だけ整えたような。でも。

「あれくらいの子供たちは、いつか外国人に会ったことは忘れてしまうかもしれないけど」

写真展が終わった後、Bishwaが夕食に招待してくれたとき。

「でも、ああいう見たこともないようなものを あんな大きなサイズで見ることができて」

「きっとその時に感じたことは、彼らが大きくなっても残るんじゃないかな」

「彼らは、きっとずっと覚えていてと思うよ」

そう言ってもらえたのがすごく嬉しかった。今でも、小さな子供たちの様子を思い起こすことができます。写真にくっかんばかりにして東京の高層ビルの窓の数を数えていました。顔を真上に上げて、こんなんだぜ、って。



Bishwa、エリカさん
お母さん、妹さん
Pramilaさん
Ramさん
ブダさん
Chapaliのみんな、おっさんたち・子供たち・おばちゃんたち
教務課機材室の皆さん
さちこ、遊くん、MJ
斉藤先生

そして
謙介・浅井

本当に、決していいことばかりじゃなかった。でも、だからこそ、この経験は自分にとってとてもとても大きなものだと思う。
お世話になった人たちの名前 全部は書ききれないけど
写真展に関わったあらゆる人たちに一言だけ。

どうもありがとう

post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.29 | [バナーリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「ソノゴのオンナ」](#) > 2010年07月 アーカイブ

10.07.18

徒然なるままに

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

ラサ最終日です。

インド・ネパールと色々あってあまりすっきりしていない。
とりえず早く自由行動をしたいなーと頻りに考えてます。
後半は後半で、撮影以外でも なんだかんだ 自分の課題が浮き彫りになっていて、
大人になるって難しい。

一人前とか、成長するとか。

けど、今日は久しぶりに天気がいいので

ひとまず撮影に行こうと思います。

空が青いぞ。

カテゴリ:

post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.18 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラフィック \(0\)](#)

[「シノゴのオンナ」](#) > 2010年07月 アーカイブ

10.07.11

浅井が墮落しきっているー

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

◇7月3・4・5日

3日の夕方、Oshoに着いたのが19時過ぎ。待っていて下さったBishwaさん夫妻に宿泊場所の簡単な説明を受け、大急ぎで食堂へ。敷地内はほぼ階段なうえに闇に辺りは真っ暗、しかもこの日は夕方から雨が...

そして夕食の時間は19:30まで。石を積んで作られた階段はものすごく危ないけれど、写真展のために急いで向かってしっかり食べなければ...

時間はちょっと過ぎてしまっていたのですが、食堂のおばちゃんが待っていてくれました。ありがとー

夕食はネパールメニュー。じゃがいもたっぷりのカレーのようなものが美味しかった。カレーが2種類にプレーンライスにナンに、中に具を入れた揚げ団子のようなもの。それからちょっとケチャップに似たマンゴソース。これは是非レシビが知りたいですね。
誰かも言ってましたが こういうものはやっぱり家庭の味がおいしいです。市内のレストランじゃあの味は中々ないだろうなー。残念。

遅くなってしまったのでBishwaさんたちも一緒に夕食をとることに。

典さんのエリカさんはなんとアジア学院の研究生だった方です。声では分らなかったけれど、実際に会った時にあれーなんか見たことある顔だなー、てかアジア学院にいたよな? と3人で話していたら案の定! 名前は覚えてなかったけどごめんなさい!!

結婚したのが先月の末なんだそうです。新婚ほやほや!
時々あまーい様子を見せられてはにやりとしてしまいます (笑)。

食後に別れると、さっそく写真展の準備です。

本当はもっと早く来て設営を始めたかったけれど仕方ない。室内で出来ることー写真の内張りとかキャプション作りその他ーを開始。
当初の予定では準備期間が3日くらいあったためにキャプション作りはまだやっていなかったんですねー。内張りはOshoが山の中で特に雨が多いので急遽。

最強ヘルパーの斉藤先生を迎えて4人で作業を分担します。内張り担当は遠藤・斉藤先生。おおよそA1・A0サイズが20枚あったので大変だったと思います。作業が終わると斉藤先生は一足先にご帰還。こちらは残ってその他の作業。自分はキャプション以外の口頭説明用の文章・簡易版も作ると、もう既に身体が寝始め...

4日の朝は6:30に起床し、まず朝のレモンティー (笑。(Oshoの時間割りに入っているんです、マジです) そして作業を開始。設営資材の竹や作業場所については、Bishwaさんのご友人でMeditationに参加しているリシさんにお世話になりました。

写真の展示法は、割った竹を紐で横に吊るし それに写真を張るというもの。竹を写真のサイズに切り、割り、それを洗い、展示会場まで運び...

しかし紐の切れ味が異様に悪かった; 男性陣二人は竹相手に悪戦苦闘。そして購入した紐の絡まっていること絡まっていること... 浅井は紐相手に悪戦苦闘。自分とは言えば、始めに紐と絡闘したあげく、泥に染まった竹を洗って両手がふやふやになる始末...
しかも分かる人は既に分かっているかもしれませんが、マレーシア以来の大量の蚊が!!! おそらくモスクートネットワークがあるに違いありませんね。斉藤先生は一人集中攻撃を受けていました (悲慘)。

全体としては遅れたものの、午後には写真を吊り始め、作業が終わるかと思いきや...

雨です。雨。 雨雨雨雨雨雨雨雨!!!!!!

何度も何度も作業を中断させられ、強い風に張りの甘かったテープをいくつも剥がされ、結局丸1日を設営に使ってしまいました;。なんてこと...





完成図。拍手！！

しかし設置作業を見た施設のスタッフさんやMeditation参加者の方が、何をやってるの？と興味を持ってきて、説明をされるとじゃあ出来たら見に行くね、と言って下さいました。数枚くらいしか張れていないところにやって来て、いい写真だね、頑張ると声をかけてくれた方も。



準備中に来たおじs.、おにいさん

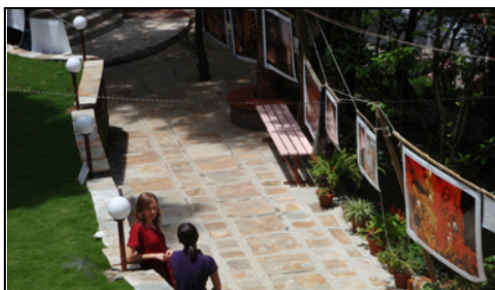
なんてありがたい...

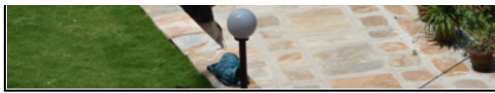
そしてこの日の夜はまた3人で集まって写真に張るキャプションの防水化に務めました。いや4日の雨の酷いこと言ったら...雨が来たらキャプション剥がせばいいなんてレベルじゃなかったですもん。この日作った防水キャプションは最終日までぎっちり保ちました。さすが。

そして5日。4日も設置途中ながら見てくれて行った人がいましたが、やはりきちんと終わったところで見てもらいたい！標高の高さ故の強い日差しに耐えながら訪れを待ちますが...

やっぱりね、あまり来ない。

でも皆無という訳じゃありませんでした。施設の見学に来た家族連れの方や、Meditation参加者・スタッフの方々が見てくれました。施設にいる人たちは皆英語が出来るので、写真について詳しい説明をすることもしばしば。





ちなみに自分たちの写真展のテーマは「Light」です。あまり写真なども見たことのないような人たちに何を届けられるだろうか、という話し合いの結果このテーマになりました。理由をぶっちゃけると、きらきらしたものでやっぱり単純に綺麗じゃない？ということ。写真の内容は東京の夜景のパノラマなどからねぶたやライトアップされた五重塔などまで様々。

帽子を被ったスタッフのお兄さんやロシア人美女は、ねぶたの写真を見てこれは本当に絵じゃないの？と言っていました。アップのみだったため そう見えただけですね。他にもネパールの方が同じような質問をされていました。

施設に一人だけいた日本人の方は「何だか久しぶりに日本食が食べたくなっちゃったな」と言ってくれ

Bishwaの友人のリシさんや何人かの方には、この写真は売らないのか、というようなことも聞かれました。

ネパール人の女性にはクリスマスのイルミネーション写真が人気でした。こちらは装飾品などもきらきらしいものが多いからでしょう きっと。

だいぶ一緒に話をしたArpitaは（Meditation参加者のネパール人女性）、ライトアップされた浅草寺が気に入りました。それからねぶたについても色々話をしました。ネパールにも台車を引き回すお祭りがあるのよ、ちょっと似ているわね。もう終わってしまったけど、バクタプルでやるものなんかは あなた機会があったらぜひ見るといいわ、と。

ちなみに赤い服(1)はMeditation参加者の制服のようなものです。なぜ赤なのかと聞いたところ、リシさんがその答えはLoveだと 言っておられました。愛の色であり、エネルギーの源であり、何かをするパワーの色なんだと。Loveか。確かに施設には薔薇もたくさん植っていました。

5日の開催は18:00まで。その後ホテルに移動なのですが、定時連絡もあるし 撤収にもある程度時間がかかるであろうと思われたので、茸藤先生と遠藤が午後一に下界へ戻ってホテルへ荷物を移動しておくことに。

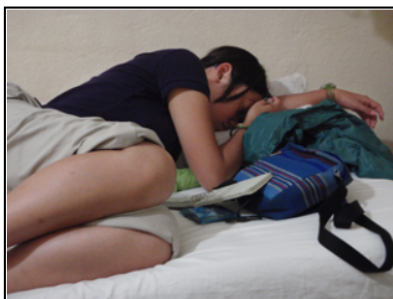
撤収時に雨が降ったら最悪だよなー、と笑って話していたら...ドンビシャです。17:45くらいにちょうどばらばらと降り始め、帰って来た遠藤と3人で撤収を終えた頃にはもうどしゃ降り。写真以外の竹や紐も、次の会場でまた使うので持ち帰らねばなりません。そして市内へ帰るタクシーが... 来ない！

1時間ほどで来るということだったのに、どしゃ降りの中いくら待っても来ない！ え、もしや帰れない...？

約束の時間を30分以上経って分かったのですが、なんとタクシーの運ちゃん、Osho内の食堂でお茶していました。例の帽子を被ったスタッフが、彼 下にいたけど...？と教えて呼んで来てくれました。ありがとう！！（この帽子の彼、ものすごく気さくなのですが、18の時からもう10年もOshoで働いていて、なんと5カ国語が話せるのです。ネパール語・ヒンディー語・英語・日本語・マレー語。チャールを飲みながらマレー語話で盛り上がってしまった... (笑)

写真を持って 竹をタクシーに積み込んで、市内のホテルに着いたのが9時前くらいでしょうか。お店が閉まり始める時間だったので日本食屋は断念し、局長に教えて頂いた美味しいネパール料理屋で夕食。局長を除いた4人はある種の安堵と達成感でちょっとテンション高めでした。局長、眠かったのにすみません；。

しかし、やっぱりかなり疲れていたようで；。店から歩いて1分ほどのホテルへ戻ると即、ベッドへ。この日の浅井の運入りはFW中で1番だったんじゃないでしょうか。



おつかれさーん (小声で)

10.07.10

みなさ～ん、浅井がスカート買いましたよ～

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

◇7月3日

Oshoでの見学を終えた2日、Bishwaさんと斉藤先生に相談をしながら色々なことを考えました。

Oshoでの開催を短く切り上げられないか？
その分、市内の他の場所で開催できないか？
開催に使える公園のような場所はないだろうか？ 学校などは？
商店街の壁や住宅地の塀に張らせてもらえたりは？

さらに

Oshoでの展示も難しそうだけど...
Meditation Hall は大きいけど展示には向かない
室内（キャンプ参加者用のドミトリールーム）は月曜日からしか使えない
Meditation Hall 外のオープンスペースは使えるけれど、何か写真を貼るものを作らなければなら
ない
オープンスペースの芝生は穴を開けたりは出来そうもない

斉藤先生のアドバイスもあって、Oshoでは写真を吊るす野外展示をする方向になりました。そ
して3日に見つけた広場！

市内での展示は、Bishwaさんに難しいかもしれないと言われていました。路上で野菜を売って
いたりする人がいるけれど、あれはきちんと届けを出していて、無許可でやっているのが見つ
かると 売り物を取り上げられたり捨てられたりするんだと。
もしかしたら同じような目に遭うかもしれない。広場や空き地でやるにしても、持ち主の人に
話を通さないと何かあった時に困るし...

しかしこの広場は魅力的だ！ 近くに大人たちがお茶をする場所があって子供たちがサッカーを
する場所があって...



隣のサッカー広場

そこで、ここでの展示が出来るかは分からないけれど、Bishwaさんを通して近所の住民らしき
人に話をしてみることに。すると...

どうやらこの広場は使っても大丈夫らしい!? しかも もしやるなら近所のおじさま達が手伝っ
てくれるって!?

買い物を終え、Bishwaさん夫妻とまたOshoで落ち合う約束をしてバックバックを取りにホテル
へ。そして大急ぎで日程その他諸々を変更したい旨を書いたmailを東京教務課へ送り タクシ
ーへ乗り込み。この時 既に現地時間では18:30過ぎ。ということは日本では21:45をまわっている
ことに！しかも土曜日！

土曜日曜はOshoでのインターネットが使えず、期待と不安入り混じって全員でmailチェックを
したのが月曜の朝。急な連絡で、しかもこちらの返信が遅くなり東京の方々には大変なご迷惑
をかけてしまいました。そして休日だったにもかかわらず対処して頂き、希望していた変更の
許可を頂くことが出来ました。本当にありがとうございます。

そうして決まった日程が（東京に連絡していた時点での予定も混ざりますが）

7月3日にOshoへ移動&設営
4・5日に展示
5日の夜にカトマンス市内のホテルに移動し、
6日の朝に再び設営
そして6・7・8日に見つけた広場 CHAPALI での展示

後から気付いてみればかなりの強行スケジュールです。
ただ今 写真展終了後2日目ですが...

...未だ体力戻らず。

post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.10 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[「シノゴのオンナ」](#) > 2010年07月 アーカイブ

謙介侍、風邪をひく。

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

◇7月1・2日・3日

インド・ネパール間のフライトは約2時間。着陸前からみんなのテンションはバカ上がりです。

飛行場が緑だ！
建物かわいい！
空港ちっさ！
てか煙草！？
しかも作り中！？

飛行機を降りて入国する際も

天井低い！
審査のカウンターも低い！
え、X線通さなくていいの？
なんてくだくだなんだ！
おじさん達 仕事はいいのか！
すてき過ぎる！！

といった様子。

デリーにいた頃から予定してまして、この日の夕食は指定泊近くにある日本食屋「ふる里」へ。
インドの食事は不味くはないんだけど、味がみんな似ているというか濃過ぎるというか... 全員だいたい飽きが来ていたのでここでもテンション馬鹿上がり。

ぎつねうどん！
てんぷら！
焼き茄子！
納豆！漬け物！厚焼き卵！
酢の物に唐揚げに鯖の味噌煮！！

満腹させて頂きました。局長、本当にごちそうさまでした。

さて、ネパールでやることといえばグループ写真展です。
自分たちの班は小林・浅井・遠藤。そして2年次にアジア学院にて知り合ったネパール出身のBishwaさんと連絡を取り合い、出発前から開催場所を探していました。
最終的にはカトマンズ郊外にあるMeditation Center「Osho tapoban」にて開催することが決まりました。が。

カトマンズ到着後Bishwaさんと連絡を取り、2日に彼のご友人に案内されてOshoへ見学へ行ったところ...



人、来るのか.....？

ここに来て 平日はMeditation参加者以外はあまり訪問者もないらしいということが判明。
開催地の条件として "色々な人に見てもらえる場所" を探していたのですが、そこは語学の壁です。自分たちとしては "色々な人" = 現地の人なら老若男女、学識問わず、といった風に考えていたところを、Bishwaさんは「このMeditation Centerなら International で世界中からキャンプ参加者が訪れるから」と薦めてくれたらしいです。むむう。

再度彼と連絡を取るも、こちらの英語力ではディテールが伝えられない&理解出来ない！
マジどうしよう... と思っていたら電話口のBishwaさんが「妻に代わるから」と。
え なん、で奥さん？ すると 「え～も、い、い、？」

日本語だー！！
でもBishwaって結婚してたっけ？

素朴な疑問はさておき、必死な自分たちは彼女に通訳をしてもらうことに。ちなみにOsho帰りのタクシーの中、彼の友人に携帯を借りてました。そして説明を始めた途端...

あ、バッテリー切れた。

ご友人苦笑い&三人してマジ焦り。

バッテリー使い切ってごめんなさいと思いつつ、ホテルに戻って大急ぎで電話をかけ直しました。(2日・3日とホテルの電話を独占していた日本人は自分たちです)
それから引率の斉藤先生に相談も。斉藤先生は自分たちのグループの展示が一番大変そうだからとサポートについて預けることになりました。(のちに返しきれないほどの感謝をすることになります)

3日にはホテルにて直接ご夫婦と話し合いをし(ネパールでは土曜が休日なのに、ありがとうございます)、とりあえずOshoでの必要物資を買い出しに。

買い出しをする、といっても休日なので開いているお店は少ないです。そこでもBishwaさんに色々手伝って頂きまして... (さらに彼曰く カトマズでNo.1のラッシーとアイスをごちそうになりました。確かに美味しかった！)
と、そうこうするうちに何だか野外展示に良さげな広場があるじゃありませんか。

ここどうよ？

カテゴリ：
post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「シノゴのオンナ」 > 2010年07月 アーカイブ

10.07.09

闘莉王ってる

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

◇6月29・30日

28日には飛行機でデリーへ移動して学校指定泊へチェックインしました。
デリーでの指定泊は駅のすぐ近くで大きなバザールがあるところなのですが、一言で言うならすごい。

ひどい。

くさい。

カオス。

ここにきてやっとインドを見た気がしました。全員に「今更!？」とつっこまれましたが、だからほぼ人と接触してないんだってー

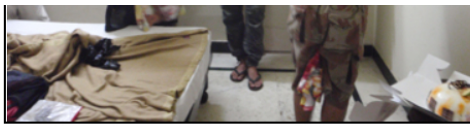
指定泊も良く言うならインドらしいところで、僅か2日の滞在でもちょっとかなり疲れます(笑)。

そんな中開かれたのが我らもっさり、椿武佐志のお誕生日会!!



混沌としたデリーにおいては中々立派なお誕生日会だったんじゃないでしょうか。
遠藤・穂積が誕生日プレゼントにTシャツとキャミソールを。そして何人かがまともなケーキを採って来てくれました。多少遊びに走った気がしなくなかったけれど(笑)。





恥ずかしがる武佐志に服を脱がせ



シヴァ神降臨！



キャミソールは虫食いだらけで、ケーキは溶けかかって軽く潰れてたけど そんなのノープロブレム！
インドを乗り切った皆は強いよ！

ネパール入国後もTシャツの方は着てくれているようです。他に服が無い時とか。

キャミの方は？



てこズリ夫

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)

ネパールでのグループ写真展が終わりました。

やってみたら実は他のグループより弾丸というかぶっつけになってしまった写真展。
色々な人に迷惑をかけ、また助けでも頂きました。
ので、早く書きたい！

というわけでグループ展に向けて残りインドは駆けあーし！！

◇6月23・24・25・26・27・28日

ジョードブルは移ってきたジャイプルに比べると だいぶ小さな街です。とはいっても歩き回るには広過ぎるくらいですけど。自分と浅井が宿泊したホテルは旧市街内にあり、外に出るだけで現地の人々の暮らしに触れることができます。インドでは特に現地民との接触が少ないので自分的には結構癒しかった。



ジャイプル・ジョードブルの両都市では乾燥地帯の畑の様子を撮りたいと思っていました。が、いかにも砂漠らしいところにある畑となると まず行くだけで一苦労です。運転手に断られたり、何でわざわざ そんなところに行くのかと 洗いや顔をされたり、車で片道2時間かかるなんてのももう慣れっことですが、流石にインドはスケールが違いましたね。どうしても撮りたいイメージがあったので急速 1日だけ車をチャーターしたのですが...

600km走破！！

です。多分。

まあオートリクシャーがパンクして早朝郊外に置き去りにされた時に比べればなんてことないです。



常連になっていた運ちゃんで見かけた...

浅井もブログで書いているように、ジョードブルはジャイプルよりだいぶ涼しい場所でした。ただし体感と実際の気温は違います。精製される塩の量が半端じゃない！認識に差が出るので体調管理が難しかったです。撮影量を増やしたかったけど、いつの間にか体が疲れきっているんですね。ダーズリンとは違う意味で悔しかった。

FW前半のように 闇雲に不安になることは減りました。けれどやっぱり自分は、撮れた、と言いつけるようにはなれそうもないです。

客観的な写真と自分らしい写真

心算の計算と口算の計算。
ってやっぱり矛盾して聞こえますよねー...
最近の悩み所です。



6月・7月はブライダルシーズンなんだそうです。夜中になんか騒がしいと思ったらホテル正面の道を新郎が行進して行くところでした。夜間に見るの中々ないと思います。

カテゴリ:

post by 小林 真純 | 日時: 2010.07.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)